

## 2016年度湘南藤沢学会「研究助成基金」成果報告書

## 滋賀県長浜市田根地区活性化プロジェクト

政策・メディア研究科修士課程2年

藤咲潤 (81524898)

2016年6月度応募

## 1. 活動の場所・日程

場所：滋賀県長浜市田根地区谷口長41 古民家きゃんせの場

日程：第1回 2016年6月18日 - 6月19日 第2回 7月24日 - 8月10日

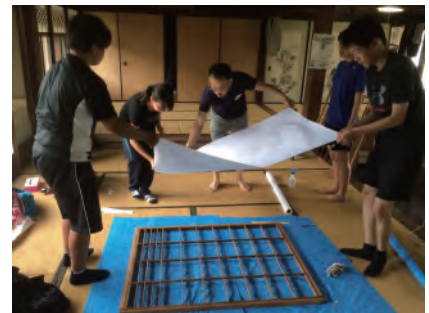
## 2. 活動の概要

小林博人研究会では地域固有の場所の豊かさやその根源をなす地域の微文化を再確認し、それに基づいた新たな価値創造のために「デザイン」という分析・解決手法を用いて建築を包含した環境の「カタチ」の提案を行っている。

滋賀県長浜市田根地区では、若者の首都圏への流出や少子化の影響を受けて過疎化の危機に面しており、地域住民の人口減少によって空き家数の増加といった問題が顕在化している。このような状況において空き家を地域の資源として扱い、住民らが協力してその場所と、その場所で生まれるコミュニティを地域の魅力として再生していく仕組みづくりのデザインをすることが目的である。

## 3. 活動の成果

未来古民家ワークショップでは地元の高校生を対象とし古民家の2階の窓や壁の修復そして設計施工を行った。最も展望の良い窓を地元の方々そして高校生と協力し、風景を最大限活かせる窓とその周りのしつらえを考えた結果、窓の上下左右を樹齢100年以上の杉材を用いた机の天板、既存の襖を雨戸として転用した跳ね上げ式の窓、きれいに貼り直した既存の障子窓を用いた様々な文脈の建具で囲まれた風景が完成した。



週末田根ツアーでは、地域活性化や田舎に興味のある学生を対象にゲストハウスとして改修した古民家の2階に宿泊してもらい、2泊3日で田根を満喫し外部からの目線で田根を再評価してもらい、その評価をモチベーションとして地域の人に還元することができた。田根の資源として古民家、自然、人、田舎の時間が魅力的であることを再認識することができた。



#### 4. 今後の研究に向けて

この春と夏の活動を通して、今後のプロジェクトの軸となる企画や活動を前進することができた。古民家キャンセの場の改修については、ゲストハウス、ワークスペース、ライブラリー、共同キッチンといった複合的な使い方ができる施設としてより地域住民の方々の利用を促進できる仕組みや運営方法を考えていく必要がある。そして田根地区内での古民家キャンセの場の周知をする必要があり、地域のニーズの調査等行っていく必要がある。また週末田根ツアーでは、新しい形のツアー+地域活性化としてより来訪者と地域住民の方々双方にメリットのある企画運営を行う必要がある。そしてなにより、このプロジェクトの活動も含めた田根地区全体を発信する必要があり、新規に建設中であるウェブサイトを通じて新しい形の地域発信をすることが求められている。